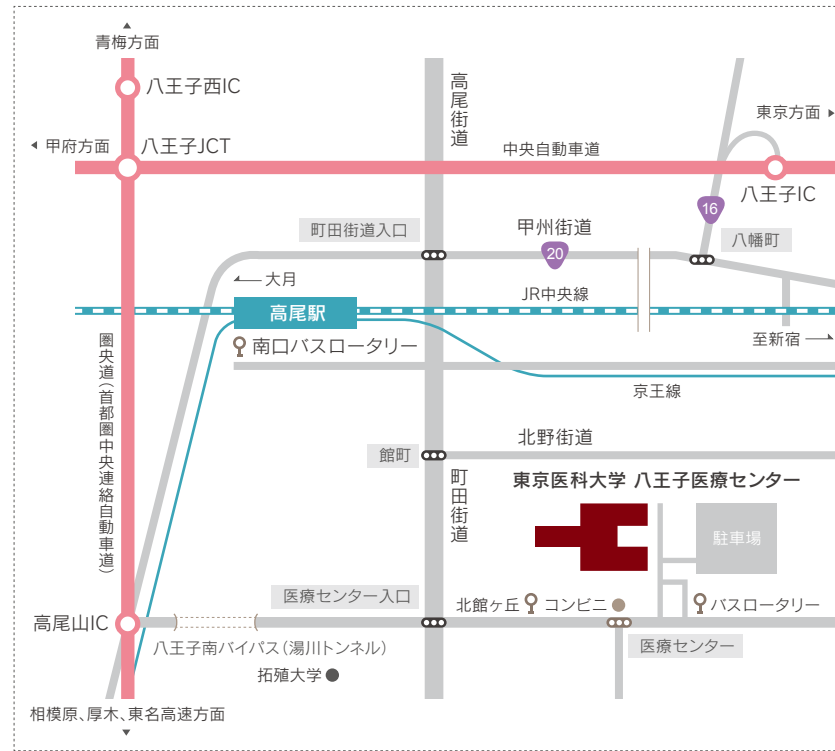




〈飛行機でお越しの場合〉

羽田空港から約90分 (JR・バス利用)

〈電車でお越しの場合〉

JR新宿駅／京王新宿駅から約40分 (高尾駅よりバス利用)

JR東京駅から約60分 (高尾駅よりバス利用)

〈バスでお越しの場合〉

JR高尾駅／京王線高尾駅・南口3番乗り場から約7分

(「医療センター」経由館ヶ丘団地行き」または「医療センター行き」)

〈タクシーでお越しの場合〉

JR高尾駅／京王線高尾駅・南口ロータリーから約5分



Hello, Tomorrow!

東京医科大学八王子医療センター



看護部ホームページ
<http://hachioji.tokyo-med.ac.jp/nurse/>



看護部公式Instagram
https://www.instagram.com/hachioji_iryocenter_kangobu

東京医科大学八王子医療センター
 TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HACHIOJI MEDICAL CENTER

〒193-0998 東京都八王子市館町1163番地
 TEL: 042-665-5611 (代表) / FAX: 042-665-5639
<http://hachioji.tokyo-med.ac.jp>

東京医科大学八王子医療センター 理念と基本方針

理念

人間愛に基いて、患者さんに寄り添った
優しい医療を実践します

基本方針

本学の校是である“正義・友愛・奉仕”を実践します

1. 安全で安心な、開かれた医療を提供します
2. 患者さん・地域医療機関と信頼関係を築き、
全職員が協力し良質で高度な医療を提供します
3. 患者さん、ご家族、働くスタッフ、すべての人々が温かみを感じることができる病院を目指します



「急性期医療」と「地域医療」、 両者の機能を果たす

東京医科大学八王子医療センターは1980年4月、八王子市の誘致を受けて現在の地に開院しました。当センターは、八王子市57万人を含めた、南多摩医療圏142万人の中核病院として、「急性期医療」と「地域医療」の両者の機能を果たしています。現在標榜診療科34科・許可病床数610床の総合病院として、あらゆる疾患への対応と効率的な医療システムの運用を行い、三次救命救急センター、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院などの指定を受け、移植医療の推進をはじめとした時代に即した高度医療を実践しています。また、地域医療支援病院として近隣医療機関と連携し、八王子市民のみならず南多摩地区の皆様の健康増進と疾病予防対策にも貢献しています。

東京医科大学八王子医療センター概要

病床数 610床

看護 一般病棟実質配置 7:1

施設認定

東京都救命救急センター

東京都地域災害拠点中核病院

地域がん診療連携拠点病院

日本臓器移植ネットワーク・HLA検査施設

地域医療支援病院

臨床研修病院

診療科目／34科

総合診療科、小児科、整形外科、形成外科、糖尿病・内分泌・代謝内科、高齢診療科、放射線科、皮膚科、臨床検査医学科、血液内科、感染症科、臨床腫瘍科(腫瘍内科)、麻酔科、リウマチ科、歯科口腔外科、脳神経外科、脳神経内科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、循環器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺科、産科・婦人科、腎臓内科、腎臓外科、消化器外科・移植外科、消化器内科、泌尿器科、病理診断科、メンタルヘルス科、特定集中治療部、救命救急科

看護部 理念と基本方針

理念

優しい看護の実践

基本方針

1. 笑顔と思いやりをもって患者さんに寄り添う看護を実践します
2. 患者さんの権利を尊重し安全・安心な看護を実践します
3. 医療チームの一員として多職種と協力し、地域の医療・看護に貢献します
4. 専門職としての責任を持ち、質の高い看護を実践します
5. よりよいケアを行うために自身のウェルビーイングの向上に努めます

Message from Nursing Director

Hello, Tomorrow!

明日の自分が、楽しみになる看護師に。

あなたがいてくれてよかった

患者さんから「あなたがいてくれてよかった」と感謝の言葉をいただくことがあります。いつも患者さんの想いに寄り添い、時にはそっと手を添える看護を実践している証だと思っています。

私たちは、高度急性期病院の看護師として、専門的知識に基づいた看護を実践すること、患者さんが安全に、そして安心して医療を受けていただけることをめざしています。

成長する自分を楽しめる環境

看護師としてのスタートを大切に、充実した教育環境を整えました。

卒後教育は患者さんに質の高い看護を実施するための基盤と考え、

キャリアアップを積極的に支援しています。

24時間使用可能な図書館をはじめ、院内教育プログラムはもちろん、

院外研修にも多くの先輩が学んでいます。

看護の仕事のスタートを、どこでどんなふうにか切るかは、その人の将来に大きな影響を与えます。

人生の成長期に学習する姿勢をしっかり身につけてほしいと思います。



副院長・看護部長 荒川 友加里
(認定看護管理者)

東京医科大学八王子医療センターの特色

「地域の救急医療」を完結する“三次救急医療機関”

西東京都下の広い範囲をカバーする救命救急センターです。初期治療としてPCPSや穿頭、開胸心臓マッサージなどの処置の介助。放射線科では心臓カテーテル、IVRなど血管内治療の介助を行っています。ヘリポートやヘリ搬送専用初療室も完備し近隣県からの救急にも対応しています。

一流の看護技術が身につく

独自のERラダーや放射線科ラダーを使用して段階的にステップアップできるようになっています。急性・重症患者看護専門看護師、救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、インターベンションエキスパートナースが在籍しサポートにあたるので安心です。



屋上ヘリポート

「災害医療」のエキスパートとして活躍



地域災害拠点中核病院に指定される当院は、自然災害発生時や人的災害発生時に地域を守る中心的な役割を担います。日頃から地域の医療従事者、地域住民を交えながら様々な訓練を行い、災害時に備えています。



生命を救う「東京DMAT」

東京都の災害医療派遣チーム(東京DMAT= Disaster Medical Assistance Team)にも指定されています。災害現場に医療側が出向き、一刻も早い医療処置を開始することで都民の生命を守るために活動しています。



東京医科大学八王子医療センターを中心とした「総合防災訓練」

当院と八王子市が包括連携協定を締結したことを受け、八王子市と共催で「総合防災訓練」を実施しています。近隣地域の医師、薬剤師、市の職員、ボランティア(大学生、地域の方々)など300人ほどが八王子医療センターに集まり、救急医療救護所の設置とトリアージなどの訓練を行います。

院内でも、「緊急医療救護所」から搬送された傷病者の対応として、二次トリアージや電子カルテによる受付、重症・中等症エリアでのオーダーなどの訓練を併せて実施し、さらに、夜間想定での火災対応訓練も実施しています。



「移植医療」の推進

質の高いチーム医療が、高度化する医療を支えています。患者さん・ご家族の一番近くにいる看護師が患者さんの代弁者となり、多職種との調整を行うことで、各専門スタッフの力が発揮されています。



移植医療は「チーム医療」で成り立つ

腎移植は八王子医療センター創立時から行われ、肝臓移植も行っています。消化器外科、移植外科、腎臓内科、麻酔科、移植コーディネーター、薬剤師、栄養士などのスペシャリストと協力し、一つのチームになって移植医療を行っています。

「がん」に対する“継続的な医療”

地域がん診療連携拠点病院としてがん診療、緩和医療の向上、相談の充実に努めています。入院中から退院後の生活を考えたケアと地域連携を実施し、継ぎ目のない看護を提供します。また、緩和ケア外来を設け、患者さんの家族も含めた療養指導や相談・情報提供も行っています。

やまゆりサロン

月1回定例開催している、患者さんを対象とする「がんサロン」です。がんサロンは、当事者どうして体験や想いを分かち合うことで、治療や療養中の不安や孤独感を軽減することを目的として開催されています。当院のがんサロンのスタイルは、看護師、心理士をはじめ多職種が月替わりでファシリテーターを務めるサポートグループです。外来患者・入院患者など多彩な方々が10人前後集まり、その安心空間を医療者が支えることで、がんにまつわるさまざまな悩みや気づき、人生観などを語り合い、ときには泣き笑いも生まれます。



地域全体を支える「地域医療支援病院」

専門看護師や認定看護師による研修会を開催しています。自由参加型で、身につけたい分野の知識を補うことができる人気の研修です。この研修は周辺地域の看護師さんも参加可能で、院内のみならず地域全体の看護の質の向上に役立っています。



地域連携ネットワークを大事にする「入退院支援」

看護師も含む「総合相談支援センター」で病気とともに生じた問題や心配ごとについて、入院前から退院後まで患者さんの支援を行います。家での生活を支援するサービス(介護保険、訪問診療、訪問看護など)の調整や、転院先の紹介などを行います。



文書だけでなく、関係各所と転院カンファレンスを必要に応じて行う



退院支援カンファレンス

八王子医療センター看護部の特色

ナースコールを鳴らさない看護

患者さんがナースコールを押す前に、看護師が患者さんの変化に気づきケアをすることをめざしています。患者さんの状態は、電子カルテシステムによってナースステーション内でもある程度把握できますが、直接患者さんを見ることで気づく些細な変化を見逃さないために、ベッドサイドへ足を運ぶことを大切にしています。



固定チームディパートナー制

固定チームナーシングを基本として、看護師が2人1組となり、パートナーシップを発揮しながら協働して看護ケアを提供する方式です。ペアでケアを行うことにより、安全・安心で質の高い看護を提供することができます。

ベッドサイドでのウォーキングカンファレンス

毎朝ベッドサイドで行われるウォーキングカンファレンス。日勤のチームメンバー全員で患者さん一人ひとりを回ります。患者さんの要望や1日のスケジュール、安全に関する確認を行うとともに、病状の変化がないかを観察します。



ユマニチュード®の実践

ユマニチュードは優しさを伝えるケア技術です。患者さんに寄り添ったケアの提供のひとつとして、ユマニチュードを取り入れています。入院期間が短い中でも、すべての患者さんへ優しさが届けられるように、4つの柱を実践しています。

4色の制服

エンジ、エメラルドグリーン(男女色違い)、紺、ピンクが支給されます。



四季を感じられる「患者さん専用の遊歩道」

日本一のチーム医療をめざして

当院の看護師は「チーム医療」において、コーディネーターとして活躍しています。患者さんにより良い医療を提供するためには、医師をはじめとする多職種、患者さんとの円滑なコミュニケーションが必須です。看護師のフィジカルアセスメント能力向上を常に心がけ、日本一のチーム医療をめざします。



NST（栄養サポートチーム）

職種の壁を越え、栄養サポートを実施する多職種のチームです。専門の知識を持った認定看護師、医師、管理栄養士、STなどで構成され、各病棟のリンクナースとともに合同カンファレンスを行っています。

褥瘡対策チーム

チームは医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリテーションスタッフなど多職種によって構成され、褥瘡の治療、予防についての会議が定期的にもたれています。また、コンサルテーションのあった患者さんのもとへチームで回診を行っています。



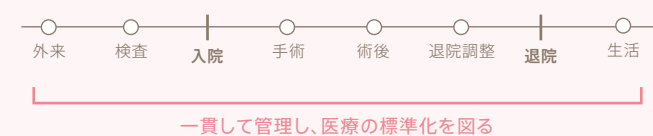
多職種カンファレンス

医師・看護師・薬剤師・理学療法士など多職種で定期的にカンファレンスを行い、個々の患者さんに寄り添った治療や看護について話し合っています。

入院前から退院までを管理する「クリニカルパス」

入院前の治療や検査、入院中に受ける検査・手術の予定や手術後のリハビリや治療内容、食事・入浴などの生活の流れを一貫して管理しています。この取り組みによって、患者さんが受ける「医療の標準化」を図り、医師、看護師をはじめ、医療にかかわるスタッフ全員が患者さんの医療計画を共有することができます。

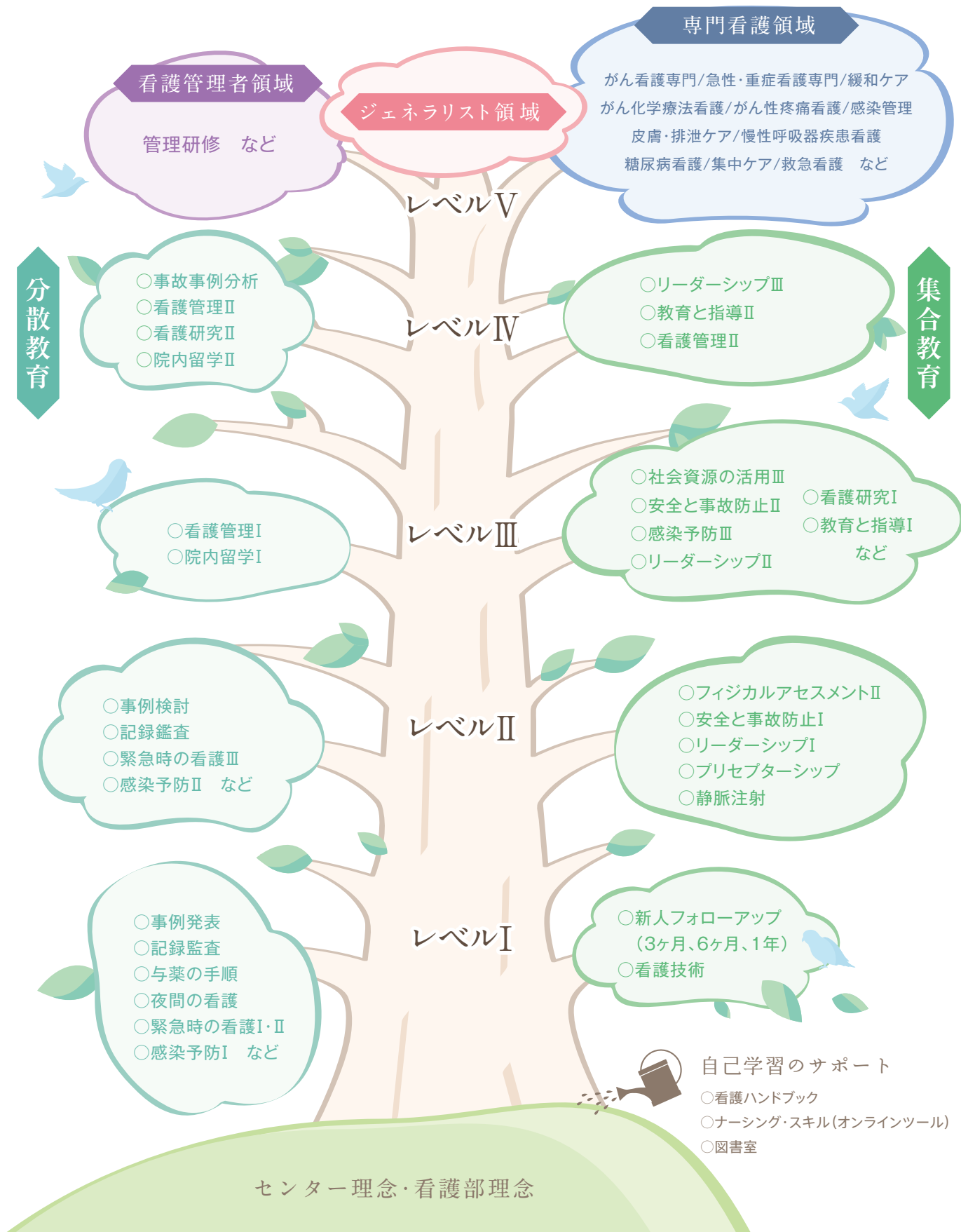
クリニカルパス



入院オリエンテーションには、iPadを利用しています

院内研修構造図

集合教育と各部署で行う分散教育を組み合わせ、学んだことを看護実践に活かせるような研修内容となっています。
またe-ラーニング「ナースング・スキル」を活用した研修もあり、ライフスタイルに合わせて学習を進めることができます。
さらに専門看護師・認定看護師などによる夜間勉強会を開催し、自己学習できる環境も整えています。

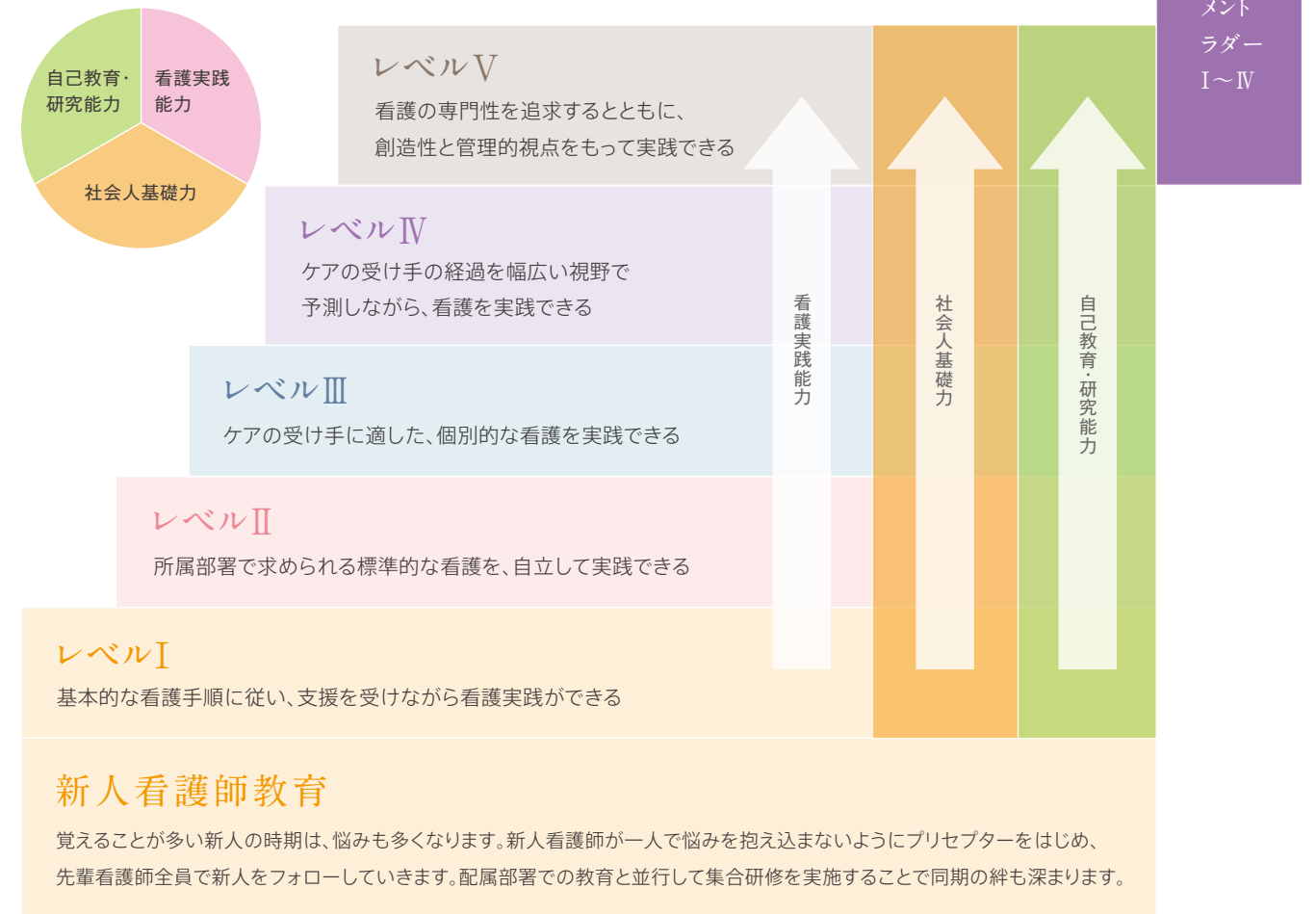


教育体制

教育理念／自主自学の精神をもとに、専門職業人として看護の質を高め、自立した看護師を育成します。

臨床看護師育成システム (クリニカルラダーシステム)

すべての看護師が常に目標をもってスキルアップできるよう、レベルⅠ～Ⅴに分けたクリニカルラダーを用いて継続的な教育を行います。看護師に必要な知識と技術、専門職業人としての継続学習、社会人基礎力を段階的に分けることで不足するスキルを明確にし、一つずつ着実な習得をめざします。キャリアアップを図ると共に人間性の成長も目指したラダーです。



ナースングスキル

ナースングスキルは「いつでも」「どこでも」アクセスできる“オンラインツール”です。手順の確認やチェックリストとして活用しています。



図書室

院内には24時間利用できる図書室があり、インターネットでの文献検索も可能です。



24時間使える
院内図書室

新人看護師教育

覚えることが多い新人の時期は、悩みも多くなります。新人看護師が一人で悩みを抱え込まないように、プリセプターをはじめ先輩看護師全員で新人をフォローしていきます。配属部署での教育と並行して集合研修を実施することで同期の絆も深まります。

1年間でここま で成長できました

ドキドキしながら輸液ポンプの体験学習



輸液療法研修



フォローアップ研修②はみんなで高尾山へ



高尾山でリフレッシュ

- 認知症ケア
- 看護倫理
- 意思決定支援

●感染予防
●酸素療法
●与薬の手順など

●静脈採血
●静脈注射
●栄養管理・褥瘡ケア

●転倒転落防止手順

6月

●急変時の対応
●輸血療法

7月

●ME機器の基礎知識
●夜間の看護

●フォローアップ研修①

8月

9月

私達同じ地方から来ました！



同期との絆

プリセプターは1年間、あなたを見守っています。



プリセプター＆プリセプティ

夜勤は変則二交替・三交替

ライフスタイルにあわせて選べます。



ストレスマネジメント研修は年4回



人工呼吸器研修



1年間、みんなでがんばります！

プリセプティ会

6,9,3月に、それぞれの振り返りと、今後の目標を設定します。

- フォローアップ研修②
- メンバーシップ
- 社会資源の活用

10月

11月

12月

研修はすべて勤務時間内です。



BLS研修



救急看護研修



NPPV研修



2年目に向かって
羽ばたいていきます！



心電図研修

3月

2月

- フォローアップ研修③
- 事例発表



絆が深まるグループ研修

もうすぐ2年目。仲間の支えが
あってがんばれます！

1人に1冊 看護ハンドブック



ポケットサイズの看護ハンドブックは
新人ナースの強い味方です！

一つずつ着実に学べる環境があります。

入職して実感するのは「先輩の優しさ」です。まだ看護師として未熟な部分が多いので、相談しやすい雰囲気があることが本当に心強いです。不安や疑問を残さずに、基礎から一つずつ身につけることができます。また、尊敬できる先輩や励まし合える同期がいることで、常に向上心を持って働ける環境にも満足しています。



認定看護師による横断的な教育

12領域の専門・認定看護師がおり、困ったことや迷いが生じた時にはすぐに相談できる体制を整えています。認定看護師は特定の病棟に限らず、横断的な活動によって看護の質の向上に努めています。

専門看護師・認定看護師取得への 手厚いサポート体制

専門看護師・認定看護師取得に向けては「受験料・入学金・交通費は全額」「授業料は半額」を病院が負担しています。また通学中も給与が支払われるため、安心して資格取得に集中することができます。

急性・重症患者看護専門看護師

救急度や重症度の高い患者さんにケアを行い、部門や職種を超えて連携できるように調整しています。大学院での学びを活かして院内教育や教育活動にも参加し、院内全体の看護の質の向上をめざしています。



がん看護専門看護師

がんとなった患者さんやご家族がスタッフと共に治療へ参加することをサポートし、ご自身で生活をコーディネートしていけるよう多職種と連携した活動を行っています。



急性・重症患者看護専門看護師

生命の危機的状況にあり、多くの苦痛を抱える患者様とご家族を対象とし、看護を実践するのが役割です。また、スタッフ教育やチーム医療推進、そして組織へ働きかけることで看護の質の向上を図ることが目標です。



精神看護専門看護師

身体疾患を抱える患者様およびご家族に対し、医療スタッフと連携しながら精神的なケアにあたっています。また、医療従事者である看護師も対象としており、看護師のメンタルヘルス支援の役割もあります。



集中ケア認定看護師

過大侵襲を受けた生命の危機に脅かされている患者さんの「声にできない訴え」を酌み取り、安全・安楽の保持とより早い回復をめざして看護実践しています。また院内教育にも参画し、アセスメント能力向上に奮闘しています。



救急看護認定看護師

市内唯一の救命救急センターで様々な救急患者さんに対応しています。迅速な救命技術に加えて精神的な支援ができるよう心がけています。その他にも病院内外の看護師に救命技術の講習会や災害訓練を実施しています。



慢性呼吸器疾患看護認定看護師

呼吸器疾患患者さんへの看護介入をはじめ、呼吸ケアの相談や教育を行っています。教育入院では、医師・理学療法士・薬剤師・管理栄養士・臨床心理士と話し合い、患者さんがより良く生活できるよう支援しています。



がん化学療法看護認定看護師

がん化学療法を受ける患者さんやご家族は、治療の意思決定や副作用への対処など様々な困難に直面します。その困難一つひとつに寄り添い、繰り返しの治療を生活に組み入れながら自分らしく過ごせるように支援しています。



緩和ケア認定看護師

緩和ケアはがんの診断時から始まります。患者さんがその人らしく生活できるよう、多職種と協力しながらケアにあたっています。また、ベッドサイドケアではスタッフへの教育的役割を果たしています。



感染管理認定看護師

主な活動内容は、サーベイランス、ICTラウンド、コンサルテーション業務、マニュアルの整備、教育、地域活動です。組織横断的活動と共に、実現可能で継続できる感染管理活動を実践し、看護の質の向上に努めています。



糖尿病看護認定看護師

週に1回、主にフットケアを目的とした看護外来を行っています。また、糖尿病の患者さんはどこの部署にも多く入院しているため、病院内を横断的に活動し、学習会や看護ケアのコンサルテーションにも対応しています。



皮膚・排泄ケア認定看護師

ストーマ造設の患者さんの術前・術後、そして外来まで支援しています。また、多職種で構成する褥瘡対策チームのメンバーとして、褥瘡予防からケアの実践まで関わっています。



がん放射線療法看護認定看護師

患者さんやご家族が安心して放射線治療を継続し、完遂できるように意思決定支援から有害事象の悪化を予防するセルフケア指導、通院に対する不安や悩みについて多職種と連携し、その人らしく生活できるよう支援しています。



認知症看護認定看護師

急性期病院で治療や検査を受ける認知症の人が、安心して入院生活を送ることができるように、認知症の人の視点に立ってケアを行えるように活動しています。認知症の人とご家族、そしてケアするスタッフが笑顔で過ごせることが目標です。



“わたしに合った”東京暮らし

充実したナースライフを過ごせるよう、働きやすい職場環境と、快適な生活環境をサポートしています。

「休むときは休む」「働くときは働く」ができる病院。

看護師としてキャリアを重ねるためには、働きやすさが大事だと考えています。仕事とプライベートの両方を充実できるような環境づくりを推進しています。当院の離職率は他院に比べて低く、ママさん・パパさん看護師も多数活躍しています。



同期でダイビングライセンス取得

都心へのアクセスも抜群

グリーンホール(職員食堂)

オフタイム

有給消化率は高く、新人からベテランまでオン・オフの切り替えを重視しています。八王子市は自然あふれる環境を有する一方で、アウトレットなど商業施設も充実した住みやすい街です。都内や横浜へのアクセスも抜群です。

福利厚生

看護師寮 看護師寮は駅近くのアクセスが良い場所に立地しています。都内へのアクセスも良い場所です。



院内保育園・提携幼稚園

院内保育園を完備しています。3歳以上のお子さんは提携幼稚園に送迎通園できます。



みんな元気に楽しく過ごしているので、安心して働けます。

初診料
無料

医療費の補助

職員の健康診断や治療費の補助があります。

サークル活動

職員同士の親睦を深めているとともに、リフレッシュの場にもなっています。



学生・職員健康サポートセンター

臨床心理士が心の健康をサポートします。

出身校一覧

中国・四国

(岡山県) 岡山医療センター附属岡山看護助産学校・岡山県立大学
(広島県) 安田女子大学・広島都市学園大学・広島化学学園大学
(山口県) 山口県立大学
(香川県) 四国こどもとおとなの医療センター附属善通寺看護学校
(愛媛県) 帝京第五高等学校

九州

(福岡県) 日本赤十字九州国際看護大学・西南女学院大学・おばせ看護専門学校・聖マリア学院大学・帝京大学(福岡キャンパス)・福岡県立大学・福岡国際医療福祉大学・純真学園大学・宗像看護専門学校
(長崎県) 長崎大学
(熊本県) 九州看護福祉大学
(大分県) 大分大学・大分県立看護科学大学
(宮崎県) 宮崎大学・宮崎看護専門学校・藤元メディカルシステム付属医療専門学校
(鹿児島県) 鹿児島純心大学・鹿児島県医療法人協会立看護専門学校・久木田学園看護専門学校・鳳凰高等学校

中部

(山梨県) 山梨大学・山梨県立大学・甲府看護専門学校・共立高等看護学院
(長野県) 長野県看護大学・信州大学
(新潟県) 新潟県立看護大学・新潟大学
(富山県) 富山いずみ高等学校
(石川県) 石川県立看護大学・金沢大学
(静岡県) 静岡県立看護専門学校・下田看護専門学校・浜松市立看護専門学校・聖隷クリストファー大学
(愛知県) 中部大学・名古屋大学

近畿

(大阪府) 摂南大学・太成学院大学・大阪保健福祉専門学校・藍野大学短期大学部・大阪大学
(京都府) 京都光華女子大学・京都聖カタリナ高等学校・京都医療センター附属京都看護助産学校
(三重県) 四日市看護医療大学
(兵庫県) 西宮市医師会看護専門学校

Message from Senior Nurse



手厚いサポートと住みよい街

三次救急の病院であるため、めまぐるしく過ぎていく日々に変化を感じる時もありますが病棟の先輩方がしっかりとサポートしてくださるので安心して働くことができます。八王子はどこに行くにもアクセスが良く暮らしやすい街なのでオフの日には思う存分リフレッシュすることができます。

群馬県出身(2022年入職)



充実できる環境

故郷から離れた場所で初めての一人暮らしは不安と期待でいっぱいでしたが、心強い同期や優しい先輩に囲まれて雰囲気の良い環境で働くことができています。地方出身の方も多いので安心です。高尾山が近く緑が豊かな場所にあり、都心へのアクセスも良いのでとても充実した生活を送っています。

山口県出身(2022年入職)

北海道

北海道科学大学・北海道医療大学・天使大学・旭川医科大学・日本赤十字北海道看護大学・深川市立高等看護学院・日本医療大学

東北

(青森県) 青森中央学院大学・青森県立保健大学・青森県立黒石高等学校・弘前大学・弘前学院大学・八戸市立高等看護学院・八戸看護専門学校・弘前大学医療技術短期大学部・八戸東高等学校
(岩手県) 岩手県立大学・岩手保健医療大学・岩手看護専門学校・岩手県立一関高等看護学院・水沢学苑看護専門学校・花巻高等看護専門学校
(宮城県) 宮城大学・宮城県白石高等学校・仙台青葉学院短期大学・スズキ病院附属助産学校・国立仙台医療センター附属仙台看護助産学校・仙台徳洲看護専門学校
(秋田県) 秋田しらかみ看護学院
(山形県) 山形県立山辺高等学校
(福島県) 福島県立医科大学・ポラリス保健看護学院・いわき市医療センター看護専門学校

関東

(茨城県) 東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校
(栃木県) 獨協医科大学附属看護専門学校・自治医科大学・国際医療福祉大学
(群馬県) 高崎健康福祉大学・上武大学・群馬大学・群馬県立県民健康科学大学・群馬医療福祉大学
(埼玉県) さいたま市立高等看護学院・埼玉医科大学短期大学・人間総合科学大学・東京家政大学・東都大学・日本医療科学大学・飯能看護専門学校・北里大学看護専門学校
(千葉県) 東京医療保健大学(船橋キャンパス)・千葉科学大学・帝京平成大学(千葉キャンパス)・松戸市立総合医療センター附属看護専門学校・千葉大学
(東京都) 駒沢女子大学・東京看護専門学校・東京有明医療大学・武蔵野大学・東京都立大学・杏林大学・日本赤十字看護大学・上智大学・東京女子医科大学・東京医科大学・首都医校・誠会看護専門学校・共立女子大学・東京女子医科大学看護専門学校・帝京科学大学・東京医療学院大学・東京工科大学・東京警察病院看護専門学校・帝京平成大学(中野キャンパス)・東京慈恵会医科大学・国立療養所多磨全生園附属看護学校・東京都立南多摩看護専門学校・東京都立青梅看護専門学校・東京都立北多摩看護専門学校・東京都立板橋看護専門学校・東京都立府中看護専門学校・八王子市立看護専門学校・東京純心大学・創価大学・帝京高等看護学院・帝京大学(板橋キャンパス)・上板橋看護専門学校・文京学院大学・東京墨田看護専門学校・東京医療保健大学(五反田/東が丘/立川)・母子保健研修センター助産師学校
(神奈川県) 神奈川工科大学・神奈川県立平塚看護大学・横浜実践看護専門学校・横浜創英大学・茅ヶ崎看護専門学校・相模原看護専門学校・北里大学・湘南看護専門学校・湘南平塚看護専門学校・東海大学